

雪どけを待ちて花卉を  
下に向け 紫色はクリ  
スマスローズ



3月10日に行われた町長選挙は「矢口 稔」氏、町議補選は「安部 誠」氏が当選しました。町民の皆さんと共に、行政・議会が検討を深め、より良い町となるよう力を合わせていければと思っています。3月定例会（2月9日～2月27日）の討論内容、議決内容のポイントをお知らせします。

## 賛成5 反対4で

## 「令和6年度池田町一般会計予算」議案が可決



### 【私が反対した理由】

#### 1. 「骨格予算」になっていないこと。

3月には町長選挙がある。そのような場合の予算は「骨格予算」と言い、町運営に必要最低限の経費で予算を組み、町長が変わった時、町長の考えで予算付けができるように財源を残しておくのが一般的と考える。今回の予算案では、農地耕作条件改善事業（高収益作物への栽培転換事業、予算額8,010万円）などの新規事業も盛り込まれおり、選挙前の予算原則から外れている。

#### 2. 町財政の健全化を目指す予算になっていないこと。

池田町行財政審議会の答申で、令和8年度までは町財政を立て直す緊急対応期間と位置づけいる。財政健全化の最大の眼目は経常的経費の削減、特に人件費の削減である。今回の予算の人件費は約11億円であり、前年度よりも約5,600万円増えている。緊急対応期間中の財政の健全化を目指す予算になっていない。

#### 3. 予算項目のなかで問題点があること。

- ① 農業振興支援職員負担金予算1,000万円が全額町負担となっている。この支援職員はJAグループからの在籍出向となるとの説明があった。在籍出向であるならば、人件費を全額町が持つのには違和感がある。
- ② 財政再建中にもかかわらず、第2期町行財政改革推進委員会の予算が計上されていない。

### 《可決された「令和6年度町一般会計予算」のポイント》

◎新規事業 ○拡充事業

- ◎小中高校生の町営バス無料化（1,179万円）
- ◎地域計画作成業務（10年後の農地担い手対策を検討し、地図を作成する。835万円）
- ◎ハーブガーデン指定管理料（1,100万円）
- ◎農業振興支援職員負担金（JA出向職員人件費負担、1,000万円）
- ◎農地耕作条件改善事業（会染西部地区圃場で高収益のブドウ・花卉への転換を図る、R6～R10年継続事業、総事業費2億3,150万円  
R6年度予算額 8,010万円  
負担割合：国50% 県14% 町21% 受益者15%
- 地域おこし協力隊活動事業（隊員10人増、計15人、新たに増となった隊員：子育て支援 2人、農政 6人、商工観光 2人 5,880万円）

### 《可決された「令和6年度国民健康保険特別会計予算」のポイント》

商店・農家・退職者の方などが加入する医療保険である国民健康保険は加入者の保険税と公的補助により町の特別会計予算で運営されている。

保険税は世帯所得に対する課税、均等割（家族人数への課税）、平等割（世帯に対する課税）の3つから成る。今回の予算で国保税の値上げが提案された。その内容は下記の3つの増である。

- 保険税率 所得への課税 0.4%増
- 均等割 子ども一人 3,000円増  
大人一人 5,000円増
- 平等割 1家庭につき 5,500円増

所得300万円、4人家族、子ども2人の場合の国保税は年46万5,840円（前年度より3万1,780円増、所得比15.5%）となる。

◎審議結果：賛成多数で可決

【私の反対討論】国保会計の基金（貯金）は約1億8千万円ある。基金から2,363万円程度を繰り入れれば、平等割の5,500円増をしなくても済んだ。更に検討して欲しかったので、反対する。